



# 生出小の相談員・嶺岸祐子さん

## 地元の神楽 奥深さ伝える



嶺岸さん(左)が吹く「生出森八幡神社付属神楽」の笛を聞く2人

仙台市生出小のさわやか相談員嶺岸祐子さん(64)は、生出地区に住んでいます。どんな人なのか、子ども記者の川村恵菜さん(11)と佐藤義知さん(11)が取材しました。(1面に関連記事)

長年保育士として働いてきた嶺岸さんは今年4月から、相談員として週2回、学校に来ています。川村さんが仕事の内容を尋ねると「悩みや不安を抱えず、楽しく学校生活を送れるよう

に、児童をサポートして「ます」と話しました。先生とは違う視点で、児童と一緒に遊んだり、様子を見守ったりしています。地元で伝わる市無形文化財「生出森八幡神社付属神楽」の笛を担当し、3、4年生に教えています。興味津々の佐藤さんは「楽しいところ、難しいところを教えてください」と質問しました。嶺岸さんは「笛を吹くこ

と自体楽しいです。14ある舞に楽譜はなく、師匠の指使いをまねて覚えました。舞と合わせるのが難しかったけれど、自分も舞を覚えたらぴったり合った。奥深い世界です」と答えました。他にも、子どもたちに田植えや稲刈りを教えたり、

### 取材を終えて

### 交流の大切さ学んだ 川村恵菜さん

まちづくり委員会は、4年かけてスマイルームを作りました。特にトイレの完成がうれしかったそうです。嶺岸さんは優しい人です。これからも応援したいです。取材を通して、人と関わることは楽しくて、大切だということを学びました。

### イベント参加したい 佐藤義知さん

まちづくり委員会が、地区のために長期間活動して



## 子どもたちの学力向上に!

# 河北新報の 出前授業

活用しませんか

教育に新聞を活用するNIE活動に取り組む学校が、年々増えています。新聞は子どもたちの学力向上、読解力アップにつながります。河北新報社は、新聞活用を後押しするため、社員による出前授業を行っています。



### 出前授業 主なメニュー

- 新聞の読み方** (小学校高学年以上) **楽しく実践**  
新聞を5分で読む方法、インターネットとの違いなどを説明。新聞を読み比べ、多様な考えがあることも学べます。
- 文章の書き方** (中学生以上) **楽しく実践**  
新聞記事は分かりやすい文章のお手本。記事の書き方の基本を学ぶことは、伝わりやすいレポートやビジネス文書作成に役立ちます。
- まわしよみ新聞** (全世代向け) **楽しく実践**  
気になった記事を切り抜いて紙に貼り、選んだ理由を発表します。多様な視点や考えがあることを学べます。
- 報道写真の役割** (全世代向け) **震災学ぼう**  
写真専門記者が震災現場などの写真を素材に、報道写真の役割を説明。効果的な写真の撮り方も学べます。
- 新聞の作り方** (小学校高学年以上) **楽しく実践**  
修学旅行新聞や学級新聞の作り方を説明。取材方法、記事の書き方、効果的なレイアウトを紹介しします。
- 防災ノウハウ** (全世代向け) **震災学ぼう**  
地域巡回防災ワークショップ「むすび塾」担当記者が、地域の防災力を高めるノウハウを紹介しします。

※上記は出前授業の一例です。内容はご相談ください。

河北新報 出前授業

検索

お問い合わせ先: 河北新報社 防災・教育室 | TEL:022-211-1309 FAX:022-211-1339 E-mail:kyopro@po.kahoku.co.jp

出前授業メニュー一覧はwebでご覧いただけます

